

市制施行

10周年

記念式典

市民ら約800人が参加し、10年の節目を祝う



1 市民憲章を読み上げる仁和空くんと高村水萌さん（ともに大深内中・3年） 2,3 アトラクションとして、オープニングを飾った大深内中学校生徒による南部駒踊り
4,5 同じく沢田鶏舞保存会による沢田鶏舞 6 これまでの10年を映像で振り返りました 7 市民憲章を唱和する参加者

先人の開拓精神を受け継ぎ、全力でまちづくりを

平成17年1月1日、旧十和田市と旧十和田湖町が合併し、青森県内の新設合併第1号として、「十和田市」が誕生しました。

10年という一つの節目を迎えた今年。1月28日に市民文化センターで市制施行10周年記念式典が開かれ、関係者や市民約800人が参加し、盛大に10年の節目を祝いました。

式典のアトラクションとして、市立大深内中学校（太田孝校長）生徒による「南部駒踊り」と市立沢田小学校（蛭名俊一校長）児童の沢田つ子鶏舞と沢田鶏舞保存会による「沢田鶏舞」の郷土芸能が披露されました。旧市・旧町を代表する郷土芸能が見せる力強く、勇壮な演舞に会場から大きな拍手が送られました。新市誕生から10年の歩みを振り返る映像も上映され、平成16年12月に行われた旧市・旧町の閉庁式から、本庁・十和田湖支所での開庁式、市現代美術館オープン、上十三・十和田湖広域定住自立圏形成協定合同調印式、市立四和小

学校開校、市民交流プラザオープンなどの様子が次々と映し出されました。

式典では、小山田市長が「先人から受け継いできた開拓精神や文化・歴史、美しい自然を大切に、10年の歩みを踏まえつつ、これからも創意工夫をしながら誰もが住みやすい、行ってみたいと思えるまちづくりに全力で取り組んでいきます」と式辞を述べました。

市民・行政が一体となり 目指す「健康都市」

式典の中で披露された「十和田市健康都市宣言」。宣言文作成に携わったかたなど各世代の市民の代表11人が登壇し、宣言文を読み上げました。

宣言文には、本市の健康づくりの指針として平成25年3月に策定した「十和田市健康づくり基本計画（第2次健康とわだ21）」に沿い、市民が取り組む5領域（▽身体活動▽栄養▽健康診断▽睡眠・休養▽こころ）を取り入れています。市では、10周年を機に、市



市民を代表し、宣言文を読み上げました

民一人一人が健康で充実感を持ち、お互いに支え合っている十和田市の実現に向け、市民と行政が一体となって健康なまちづくりに取り組んでいきます。



※十和田市健康都市宣言の詳細については、広報とわだ2月号をご覧ください。